

平成28年2月26日

原料費調整制度に基づく平成28年4月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社
広 報 部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成28年4月検針分の単位料金を、平成28年3月検針分に比べ、1m³(45MJ)につき2.71円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成27年11月～平成28年1月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に32m³のガスをお使いになる標準家庭で平成28年3月検針分と比較して、87円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成28年4月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

| (消費税込) | | | | | | |
|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1か月の ご使用量 | 料金表A 0～20m ³ | 料金表B 21～80m ³ | 料金表C 81～200m ³ | 料金表D 201～500m ³ | 料金表E 501～800m ³ | 料金表F 801m ³ ～ |
| 基本料金 (円/月) | 745.20 | 1,036.80 | 1,209.60 | 1,857.60 | 6,177.60 | 12,225.60 |
| 調整単位料金 (円/m ³) | 139.07 | 124.49 | 122.33 | 119.09 | 110.45 | 102.89 |
| (参考) 3月 調整単位料金 | 141.78 | 127.20 | 125.04 | 121.80 | 113.16 | 105.60 |

2. 標準家庭における影響

| (消費税込) | | | |
|---|----------|----------|------|
| 1か月のご使用量 32m ³ (45MJ/m ³) | 平成28年 3月 | 平成28年 4月 | 増減 |
| 適用料金(円/月) | 5,107 | 5,020 | ▲ 87 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 平成27年10月～平成27年12月 の平均 (3月 検針分) | 平成27年11月～平成28年1月 の平均 (4月 検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|-----------------------------------|----------------------------------|-----------|
| 平均原料価格 (a) | 56,160 | 53,070 | ▲ 3,090 |
| LNG | 56,190 | 52,830 | ▲ 3,360 |
| LPG | 53,100 | 54,860 | 1,760 |
| 基準平均原料価格(b) | 57,250 | | |
| 差額(a-b) | ▲ 1,000 | ▲ 4,100 | ▲ 3,100 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 52,830 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 54,860 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

53,072.91

↓(10円未満四捨五入)

53,070 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$53,070 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = \text{▲ 4,180 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 4,100 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \text{▲ 4,100 円} / 100 \text{円} \times 0.08748^{*1}$$

$$= \text{▲ 3.59 円}^{*2}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 32m ³ (45MJ/m ³) | 平成28年 3月 | 平成28年 4月 | 増減 |
|---|----------|----------|------|
| 適用料金(円/月) | 5,107 | 5,020 | ▲ 87 |

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込)

$$= \text{基本料金(1,036.80円)}$$

$$+ \text{調整単位料金(128.08円)} + \text{▲ 3.59 (円)} \times 32\text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金 (税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08748円（0.081円に1.08(消費税)を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。